



## わたしの一冊・わたし的一本

## ゴジラ (第1作)

本多 猪四郎 監督 東宝 / 1954.11 公開

すい しゃ 推せん者	北里大学海洋生命科学部	じゅんきょうじゅ 准教授	みやけひろし 三宅裕志	先生
おすすめ	おためし	お気に入り	対象：小学4年生以上	
三宅先生が担当した さがまちカレッジ	水族館の仕事～北里大学海洋生命科学部夏の体験講座～ (2013年～2019年8月)			

いまから、66年前に「ゴジラ」は誕生しました。第2次世界大戦が終わって  
 から9年目に出来た映画とは思えないほどのすごい映画です。ゴジラは水爆  
 (水素爆弾)の放射能によって生まれた怪獣で、放射能を身体から発し、放射能  
 火炎を吐きます。ゴジラが移動すると、建物は破壊され、放射能で汚染され、  
 原爆(原子爆弾)が落ちた後と変わりありません。ゴジラは生きた原水爆で、  
 無敵の破壊神です。このようなゴジラをめぐる、その生命の秘密を明らかに  
 しなければならないという山根博士がいます。そして、彼の弟子の芹沢博士が、  
 水中の酸素を破壊して、生物を殺してしまう原理を発見してしまいました。こ  
 れをゴジラに使うと、その次は原水爆のように兵器として使われてしまうとい  
 うことで、芹沢博士は究極の選択をします。このゴジラという映画は、原爆  
 が落とされた日本だからこそ作れた映画だと思います。また、生物の生きる強  
 さというものと脆さというものも感じさせてくれる映画でもあります。毎年  
 原爆の日が来るたびに、私はゴジラを思い出し、原爆の悲劇を繰り返さないよ  
 うにと願っています

おすすめ：先生が担当した講座に関する勉強ができる作品  
 おためし：新しいことを勉強する良いきっかけになる作品  
 お気に入り：先生の好きなことに関する作品や、先生の心に残る作品